

文化表現学科・地域保育学科
図書館司書課程

2026 年 4 月 6 日 更新

科 目 名	生涯学習概論	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	あきやま 秋山 みわこ 美和子
ナバ`リング`コード`	LIS322I	授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	本講義では、人々の生涯学習を支援する社会教育機関（公民館、図書館、博物館、生涯学習センターなど）の意義と役割について学習する。生涯学習の意義、社会教育・生涯教育・生涯学習の概念を整理し、社会教育の歴史と法制度、国の施策、各機関の専門的職員（社会教育士・公民館主事・司書・学芸員）の役割について理解する。生涯学習支援機関を訪問して地域の実情を把握し、具体的な生涯学習プログラムの作成・発表を行う。						
到 達 目 標	1. 生涯学習の意義・理念を理解している 2. 生涯学習における社会教育機関の役割について理解し、説明できる 3. 地域課題に対する生涯学習プログラムを作成できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
				復習	授業の内容と進め方について理解する		
	第2回	内容	生涯学習の意義	予習	ユネスコと OECD の生涯学習について調べる		
				復習	生涯学習の意義を理解する		
	第3回	内容	社会教育・生涯教育・生涯学習の概念	予習	社会教育・生涯教育・生涯学習について調べる		
				復習	社会教育と生涯学習の違いを理解する		
	第4回	内容	社会教育の歴史	予習	社会教育の歴史について調べる		
				復習	社会教育の今日的課題について理解する		
	第5回	内容	社会教育の基本法令と国の施策	予習	憲法・教育基本法・社会教育法を読む		
				復習	基本法令と国の施策を理解する		
	第6回	内容	社会教育行政（組織、施設）	予習	公立の社会教育施設について調べる		
				復習	社会教育行政の		
	第7回	内容	生涯学習支援機関の見学（グループワーク・実地学習）	予習	見学する施設の概要を調べる		
				復習	学習したことをまとめる		
	第8回	内容	社会教育機関の専門的職員①社会教育士・公民館主事	予習	社会教育士・公民館主事の職務について調べる		
				復習	社会教育士・公民館主事の役割を理解する		
	第9回	内容	社会教育機関の専門的職員②司書、学芸員	予習	司書・学芸員の職務について調べる		
				復習	司書・学芸員の役割を理解する		
	第10回	内容	生涯学習の評価と成果の活用	予習	生涯学習における発表の機会を調べる		
				復習	生涯学習の評価法について理解する		
	第11回	内容	生涯学習ポートフォリオ	予習	自身の生涯学習の記録をまとめる		
				復習	今後の生涯学習の計画を立てる		
	第12回	内容	生涯学習プログラム① テーマ設定（グループワーク）	予習	生涯学習プログラムについて調べる		
				復習	テーマに沿った資料を収集し、まとめる		
	第13回	内容	生涯学習プログラム② 作成（グループワーク）	予習	生涯学習プログラムを考える		
				復習	生涯学習プログラムを完成させる		
	第14回	内容	生涯学習プログラム③ 発表（グループワーク）	予習	発表の準備をする		
				復習	発表した内容をまとめる		
	第15回	内容	家庭・学校・地域の連携・協働	予習	家庭・地域・学校の連携事業について調べる		
				復習	連携・協働することの意義や重要性を理解する		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。グループワークは、授業中に口頭でフィードバックする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【グループワークの貢献】（20%）						
教科書	使用しない						
参考文献	『三訂 生涯学習概論』（原義彦ほか 2026 ぎょうせい）						
補足事項	発表・グループワークがない回は課題を行う。 ルーブリック：https://drive.google.com/file/d/1QNLQVIwhPpvPWx43G1iJ-MrMuTvcH222/view?usp=sharing						

科 目 名	図書館概論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま 秋山 みわこ 美和子
ナンバリングコード	LIS3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	本講義では、司書資格取得の必修科目かつ入門科目として、図書館の基礎知識について学ぶ。図書館に関する科目で共通する基礎知識・基礎概念を学習した後、館種別に歴史、法制度、社会における役割、サービス内容とその意義、図書館員の業務、図書館の今日的な課題など幅広く学習する。講義及び講義を深く理解するためのグループワークを行い、最終レポートのまとめと発表を行う。							
到 達 目 標	1. 図書館の歴史と制度について理解している 2. 公共図書館を中心とする図書館サービスの内容とその意義について説明できる 3. 社会における図書館の役割について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	授業の内容と進め方について理解する			
	第2回	内容	図書館の社会的意義	予習	図書館の構成要素について調べる			
				復習	図書館の社会的意義について理解する			
	第3回	内容	図書館の機能	予習	図書館の機能について調べる			
				復習	図書館の機能について理解する			
	第4回	内容	図書館サービス（1） パブリックサービス	予習	居住地の公立図書館のサービスについて調べる			
				復習	パブリックサービスについて理解する			
	第5回	内容	図書館サービス（2） テクニカルサービス	予習	資料選書について調べる			
				復習	テクニカルサービスについて理解する			
	第6回	内容	図書館の自由に関する宣言（1）宣言と倫理綱領	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する			
				復習	図書館の自由に関する宣言を理解する			
	第7回	内容	図書館の自由に関する宣言（2）事例研究（グループワーク）	予習	図書館の自由に関する事例を調べる			
				復習	事例研究したことについてレポートを書く			
	第8回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	公共図書館と公立図書館の違いを調べる			
				復習	公共図書館の機能と役割を理解する			
	第9回	内容	国立図書館の制度と機能	予習	納本制度について調べる			
				復習	国立図書館の機能と役割を理解する			
	第10回	内容	学校図書館の制度と機能（グループワーク）	予習	出身校の学校図書館について調べる			
				復習	学校図書館の機能と役割を理解する			
	第11回	内容	大学図書館・専門図書館の制度と機能	予習	専門図書館について調べる			
				復習	専門図書館のサービス内容を確認する			
	第12回	内容	図書館の組織（グループワーク）	予習	居住地の図書館の組織について調べる			
				復習	図書館の所管の変化について理解する			
	第13回	内容	図書館に係る機関・団体	予習	指定管理者について調べる			
				復習	図書館の管理・運営の多様化について理解する			
	第14回	内容	最終レポートの準備（グループワーク）	予習	図書館に関するニュースを読む			
				復習	図書館の今日的な課題をまとめる			
	第15回	内容	最終レポート発表（グループワーク）	予習	発表の準備をする			
				復習	発表の振り返りをする			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題・レポートのフィードバックを行う。グループワークは、授業中に口頭でフィードバックする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（30%）							
教科書	『現代図書館情報学シリーズⅠ 図書館概論』（高山正也・岸田和明、樹村房）							
参考文献	『図書館情報学基礎資料 第5版』（今まど子・小山憲司 樹村房）							
補足事項	発表・グループワークがない回は課題を行う。 ルーブリック：https://drive.google.com/file/d/IQNLQVIwhPpvPWx43GIJ-MrMUtvCh222/view?usp=sharing							

科 目 名	図書館制度・経営論	単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	たまき けいこ 五木 圭子
ナバ`リング`コード`	LIS3223	授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	図書館及び関連領域に関する法律、制度、政策、図書館経営の実態について解説を行います。また、図書館と他の公的機関の連携、図書館の施設と設備、図書館サービスの計画と予算、今後の図書館経営の在り方についてグループワーク・討議を行い、各自の考察を深めます。						
到 達 目 標	1. 図書館関連法規、図書館経営に関する制度について理解している 2. 図書館経営に必要な組織運営、計画の作成と評価、図書館経営の今後の発展について理解している 3. 図書館経営の意義、職員の職務、他機関との連携について説明できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、図書館経営の理念	予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
				復習	本授業の内容と進め方を理解する		
	第2回	内容	図書館制度と図書館法	予習	図書館法を予読する		
				復習	図書館法の内容について理解する		
	第3回	内容	図書館法以外の図書館関連法規と条例、基準	予習	図書館の設置及び運営上の望ましい基準を予読する		
				復習	図書館法以外の関連法規等の内容を理解する		
	第4回	内容	図書館のサービスに関する基準、宣言等	予習	図書館員の倫理綱領を予読する		
				復習	図書館に関する基準、宣言、綱領等に目を通す		
	第5回	内容	図書館関連政策（国・地方）	予習	埼玉県図書館政策に関する資料を予読する		
				復習	図書館関連政策の資料に目を通す		
	第6回	内容	図書館の公共性と図書館経営	予習	「公共性」「公共サービス」の意味を調べる		
				復習	図書館経営に関する資料に目を通す		
	第7回	内容	図書館の職員と組織運営	予習	司書に関する文科省のサイトを予読する		
				復習	図書館で働く人についての資料に目を通す		
	第8回	内容	図書館職員の専門性とボランティア（グループワーク）	予習	図書館司書の業務を調べておく		
				復習	図書館司書の役割についてレポートを書く		
	第9回	内容	図書館の財政と予算、図書館における危機管理	予習	「図書館におけるリスクマネジメントガイドブック」を予読する		
				復習	図書館全体の予算申請の仕組みを理解する		
	第10回	内容	図書館の地域計画・サービス計画	予習	「第3次所沢市図書館ビジョン」を予読する		
				復習	図書館のサービス計画について理解する		
	第11回	内容	図書館の建物、図書館の管理形態の多様化	予習	指定管理者制度について調べる		
				復習	講義中に示された資料に目を通す		
	第12回	内容	図書館のマーケティングと図書館の評価	予習	「PDCA サイクル」の意味を調べ理解しておく		
				復習	図書館の経営評価の仕組みを理解する		
	第13回	内容	図書館の危機管理、図書館の評価（グループワーク）	予習	危機管理と評価に関する資料を再読しておく		
				復習	危機管理と評価に関するレポートを書く		
	第14回	内容	人事管理、組織の管理	予習	組織経営のための分析方法を調べておく		
				復習	講義中に示された資料に目を通す		
	第15回	内容	図書館経営の課題と展望	予習	これまでの講義資料を再読しておく		
				復習	図書館の抱える課題を理解する		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小テスト・課題の解答を示し、必要に応じて解説を行います。また、グループワーク時に適宜コメントをします。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（80％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（20％）						
教科書	指定しません。授業資料を配付します						
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ2 図書館制度・経営論』（糸賀雅児・葉袋秀樹編著、樹村房、2013） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 2 図書館制度・経営論』（永田治樹編著、日本図書館協会、2016）						
補足事項	・グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行うことがあります。小テストの内容を復習してください。 ・地域保育学科の実習期間（第9回、第10回）の授業はオンデマンド方式で行う予定です。 ・進捗等に応じてシラバスの内容を一部変更する場合があります。 https://drive.google.com/file/d/1tw6jIRcC4GNtxmNLkYkISYurh_Mvab0/view?usp=drive_link						

科 目 名	図書館情報技術論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナバ`リング`コード`	LIS3224		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	図書館業務に必要な基礎的な情報技術に関する知識を習得することを目的とする。 図書館業務システム、コンピュータの基礎、データベース、検索エンジン、電子資料など、図書館業務とサービスにおける情報技術やインターネットの活用について解説する。							
到 達 目 標	1. 図書館で活用する情報技術について理解している。 2. 印刷資料からデジタルコンテンツの管理にかかわるシステムについて理解している。 3.							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文3 ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス 図書館情報技術の全体像	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	コンピュータとネットワークの基礎	予習	コンピュータの仕組みを調べる			
				復習	コンピュータとネットワークを理解する			
	第3回	内容	情報技術と社会	予習	情報技術の社会の関りを調べる			
				復習	情報技術と社会の関りをまとめる			
	第4回	内容	図書館における情報技術の現状	予習	図書館で使われている情報技術を調べる			
				復習	図書館業務に必要な報技術を理解する			
	第5回	内容	データベースの仕組み	予習	人とデータベースの関りを調べる			
				復習	図書館のデータベースの仕組みを理解する			
	第6回	内容	メタデータの基本概念	予習	書誌情報の構成を整理しておく			
				復習	図書館とメタデータの関りを理解する			
	第7回	内容	情報システムの管理	予習	自分のセキュリティ管理について考える			
				復習	セキュリティの課題についてまとめる			
	第8回	内容	図書館業務システムの仕組み	予習	図書館業務を整理しておく			
				復習	図書館の管理システムの課題を整理する			
	第9回	内容	電子資料	予習	身近にある電子書籍を調べる			
				復習	電子資料と紙の資料の特性を整理する			
	第10回	内容	デジタルアーカイブ	予習	電子資料とは何か整理しておく			
				復習	デジタルアーカイブの必要性をまとめる			
	第11回	内容	検索システムのしくみ	予習	自分が行う情報検索方法を考える			
				復習	各種検索システムを整理する			
	第12回	内容	図書館と著作権	予習	身の回りの著作権について考える			
				復習	図書館と著作権の関係を整理する			
	第13回	内容	これからの図書館	予習	学外の図書館を技術の視点で見学しておく			
				復習	情報技術と機能について整理する			
	第14回	内容	講義復習 演習課題	予習	図書館の情報技術の在り方を整理しておく			
				復習	図書館で必要な情報技術の問題をまとめる			
	第15回	内容	図書館委託業務、まとめ	予習	図書館委託業務について考える			
				復習	図書館の情報技術について振り返りまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	各回の課題に対して解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）%、レポート・課題（100%）、作品・発表（ ）%、実技（ ）%、授業態度【 】（ ）%							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 使用しない 講義資料は毎回配布する							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 講義時に指示する							
補足事項	理解確認のための課題を提示する。							

科 目 名	図書館サービス概論	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	あきやま 秋山 美和子
ナバ`リング`コード`	LIS3212	授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	本講義では、主に公共図書館における図書館サービスについて概念と基礎知識を学ぶ。まず、図書館サービスの意義、理念、サービスの変遷について学習し、図書館サービスの中でも特に求められている他機関との連携、課題解決支援、読書バリアフリーの取組については、グループワークを通して理解を深める。また、施設見学を実施して実際の図書館サービスについて理解を深める。						
到 達 目 標	1. 図書館サービスの内容と意義について理解し、説明できる 2. 図書館サービスを実践する上での知識を獲得している 3. 図書館サービスの今日的課題を理解し、説明できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、図書館のめざすもの		予習	シラバスの内容をよく読んでおく	
					復習	授業の内容と進め方について理解する	
	第2回	内容	図書館サービスの意義と理念		予習	居住地の公共図書館のウェブサイト閲覧する	
					復習	図書館サービスの内容について理解する	
	第3回	内容	公共図書館サービスの変遷（1） 1945～1970 年代		予習	「中小レポート」について調べる	
					復習	高度経済成長期の図書館サービスを理解する	
	第4回	内容	公共図書館サービスの変遷（2） 1980 年代～現代		予習	居場所としての図書館について調べる	
					復習	図書館サービスの変遷について理解する	
	第5回	内容	図書館サービスとコンプライアンス		予習	「図書館員の倫理綱領」を予読する	
					復習	図書館員としての心構えを理解する	
	第6回	内容	資料提供サービス		予習	公共図書館の貸出サービスについて調べる	
					復習	資料提供サービスの仕組みを理解する	
	第7回	内容	情報提供サービス		予習	レファレンスサービスについて調べる	
					復習	情報提供サービスの種類について理解する	
	第8回	内容	図書館サービスの協力と連携		予習	図書館と他機関との連携事業について調べる	
					復習	連携の必要性について理解する	
	第9回	内容	先進的な図書館サービス（1） 海外（グループワーク）		予習	海外の先進的な図書館について調べる	
					復習	興味・関心をもった図書館をさらに調べてみる	
	第10回	内容	先進的な図書館サービス（2） 国内（グループワーク）		予習	国内の先進的な図書館について調べる	
					復習	興味・関心をもった図書館をさらに調べてみる	
	第11回	内容	施設見学		予習	訪問する施設の概要を調べる	
					復習	施設見学で学習したことをまとめる	
	第12回	内容	課題解決支援（グループワーク）		予習	課題解決支援サービスとは何か調べる	
					復習	課題解決支援についてレポートを書く	
	第13回	内容	図書館利用に障害のある人への支援（グループワーク）		予習	「読書バリアフリー法」を予読する	
					復習	読書バリアフリーの考え方についてまとめる	
	第14回	内容	超高齢社会における図書館（グループワーク）		予習	図書館の高齢者サービスについて調べる	
					復習	図書館の高齢者サービスについてまとめる	
	第15回	内容	利用者とのコミュニケーション		予習	図書館における危機管理について調べる	
					復習	接遇について理解する	
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題・レポートのフィードバックを行う。グループワークは、授業中に口頭でフィードバックする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（50%）						
教科書	使用しない						
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ4 図書館サービス概論』（高山正也・村上篤太郎編著、樹村房） 『図書館のめざすもの 新訂』（竹内慈編・訳、日本図書館協会）						
補足事項	グループワークのない回は課題を行う。 ルーブリック：https://drive.google.com/file/d/1QN1QV1whPpvPWx43G1iJ-MrMUtvCh222/view?usp=sharing						

科 目 名	情報サービス論	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	あきやま みわこ 秋山 美和子
ナンバリングコード	LIS3225	授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	本講義では、図書館サービスの中でも重要な位置を占める情報サービスについて学習する。図書館の情報サービスにはさまざまな種類があるが、特に、レファレンスサービスでは実際の現場を想定してグループワークに取り組み、情報源へのアクセス方法についても学ぶ。また、発信型情報サービスとして、パスファインダー、ライブラリーナビ、図書館利用案内を作成する。						
到 達 目 標	1. 図書館における情報サービスについて基礎的な知識を有している 2. レファレンスサービスを理解し、レファレンスプロセスを実現することができる 3. 発信型情報サービスの意義を理解し、実施することができる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）						
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス、情報社会と図書館の情報サービス	予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
				復習	授業の内容と進め方について理解する		
	第2回	内容	情報サービスの種類	予習	図書館における情報サービスについて調べる		
				復習	公共図書館の情報サービスについて理解する		
	第3回	内容	レファレンスサービスの意義	予習	レファレンスプロセスについて調べる		
				復習	レファレンスプロセスを理解する		
	第4回	内容	レファレンスサービスと「発想ひまわり」	予習	日本十進分類法網目表に目を通す		
				復習	分類法に基づく資料の探し方を理解する		
	第5回	内容	レファレンスサービスの実際	予習	レファレンスサービスのガイドラインを予読する		
				復習	レファレンスサービス時の接遇を理解する		
	第6回	内容	レファレンスインタビュー	予習	レファレンス協同データベースを使ってみる		
				復習	レファレンスインタビューの方法を理解する		
	第7回	内容	レファレンスインタビューの実際（グループワーク）	予習	レファレンスの質問・回答を考える		
				復習	結果をレポートにまとめる		
	第8回	内容	情報サービスに利用する情報源① 文献	予習	レファレンスブックについて調べる		
				復習	図書館でレファレンスブックを使ってみる		
	第9回	内容	情報サービスに利用する情報源② ネットワークメディア	予習	国立国会図書館サーチを使ってみる		
				復習	授業で紹介した検索サイトを使ってみる		
	第10回	内容	情報源の利用	予習	第8回、第9回の授業内容を復習しておく		
				復習	結果をレポートにまとめる		
	第11回	内容	情報検索の理論と方法（グループワーク）	予習	論理演算子について調べる		
				復習	授業で紹介した検索技法を使ってみる		
	第12回	内容	発信型情報サービス① パスファインダー	予習	パスファインダーのテーマを考える		
				復習	パスファインダーを完成させる		
	第13回	内容	発信型情報サービス② ライブラリーナビ	予習	ライブラリーナビについて調べる		
				復習	ライブラリーナビを完成させる		
	第14回	内容	図書館利用教育	予習	大学図書館利用案内の内容を考える		
				復習	図書館利用案内を完成させる		
	第15回	内容	情報サービスにかかわる知的財産権の基礎知識	予習	知的財産権について調べる		
				復習	図書館における知的財産権について理解する		
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。グループワークは、授業中に口頭でフィードバックする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（20%）						
教科書	使用しない						
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望 4 情報サービス論』（竹之内禎ほか 202 学文社）						
補足事項	グループワークがない回は課題を行う。 ルーブリック：https://drive.google.com/file/d/1QNLQVIwhPpvPWx43G1iJ-MrMUtvCh222/view?usp=sharing						

科 目 名	児童サービス論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま 秋山 みわこ 美和子
ナバ`リング`コード`	LIS3222		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	児童（0 歳～18 歳）の発達段階の特性を理解し、各期における読書活動推進のための取組について学習する。理論的な学習と共に実技の習得に力点をおき、読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトルについては演習形式で行い、実践できるようにする。							
到 達 目 標	1. 図書館における児童サービスの意義と取組について理解している。 2. 児童向け資料に関する基礎知識を有し、収集と提供について説明できる 3. 子どもの読書活動を推進する取組について理解し、実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1、2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	授業の内容と進め方について理解する			
	第2回	内容	児童サービスの意義と歴史	予習	児童サービスの意義とは何か調べる			
				復習	児童サービスの意義と歴史について理解する			
	第3回	内容	児童の発達段階と読書	予習	年代別の子どもの本を調べる			
				復習	発達段階に適した資料の提供について理解する			
	第4回	内容	乳幼児に対するサービス	予習	ブックスタートについて調べる			
				復習	乳幼児と保護者に対する支援について理解する			
	第5回	内容	児童生徒に対するサービス	予習	学校図書館法を予読する			
				復習	読書・学習支援について理解する			
	第6回	内容	YA サービス：味見読書（グループワーク）	予習	YA 世代の読書傾向について調べる			
				復習	本の選び方について理解する			
	第7回	内容	読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトルの意義と目的	予習	ブックトークについて調べる			
				復習	発表のための本を選ぶ			
	第8回	内容	読み聞かせ① 発表	予習	発表の練習をする			
				復習	自己評価をレポートにまとめる			
	第9回	内容	読み聞かせ② 発表	予習	発表の練習をする			
				復習	自己評価をレポートにまとめる			
	第10回	内容	読み聞かせ③ 発表	予習	発表の練習をする			
				復習	自己評価をレポートにまとめる			
	第11回	内容	ブックトーク① 発表	予習	ブックトークの演出を考え、練習する			
				復習	自己評価をレポートにまとめる			
	第12回	内容	ブックトーク② 発表	予習	ブックトークの演出を考え、練習する			
				復習	自己評価をレポートにまとめる			
	第13回	内容	ビブリオバトル① 発表（グループワーク）	予習	発表の練習をする			
				復習	自己評価をレポートにまとめる			
	第14回	内容	ビブリオバトル② 発表：チャンプ本の決定	予習	効果的な本の紹介を考える			
				復習	ビブリオバトルの振り返りをする			
	第15回	内容	児童サービスの課題と展望（グループワーク）	予習	児童サービスの課題について調べる			
				復習	児童の読書活動の推進について理解する			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いてレポート・課題のフィードバックを行う。グループワーク、発表は、授業中に口頭でフィードバックする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（40％）、作品・発表（50％）、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（10％）							
教科書	使用しない							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ6 児童サービス論』（植松貞夫、鈴木佳苗 2012 樹村房）							
補足事項	発表・グループワークがない回は課題を行う。 ルーブリック：https://drive.google.com/file/d/1QN1QVIwhPpvPWx43G1j-MrMUtvCh222/view?usp=sharing							

科 目 名	情報サービス演習		単 位 数	2	授業時間数	60	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS323I		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	図書館が扱う情報資源の特性を把握し、利用者に適切な回答を提供するための基礎知識と技術を習得することを目的とする。 情報入手のための情報源や情報サービスの設計、ファレンスコレクションの構築、発信型情報サービスなど、利用者の要求に対する回答処理の実践的な技術を学ぶ。							
到 達 目 標	1. レファレンス担当としての自覚を持ち、信頼性の高い情報サービスの提案ができる。 2. 各種レファレンスツール（参考資料、インターネット情報源等）の特性を理解して、利活用できる。 3. 最終的に、自分の力でレファレンス回答にたどり着ける力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文2、3、4相当 ）文化表現学科（ 文2、3、4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス レファレンス能力の確認	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	情報サービスの意義と設計	予習	教科書を読んでおく			
				復習	情報サービスの意義を整理する			
	第3回	内容	情報サービスの評価 ①情報資源とレファレンスコレクション	予習	教科書を読んでおく			
				復習	図書館資料を理解する			
	第4回	内容	情報サービスの評価 ②情報資源とレファレンスコレクションの実例（図書館内での演習）	予習	本校の情報資源を調べる			
				復習	レファレンスコレクションの特性を理解する			
	第5回	内容	情報サービスの評価 ③情報資源とレファレンスコレクションの実例（図書館内での演習）	予習	本校の情報資源を調べる			
				復習	レファレンスコレクションの特性を理解する			
	第6回	内容	情報探査行動	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	利用者の探索行動を理解する			
	第7回	内容	情報資源の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	情報資源の検索の方法を理解する			
	第8回	内容	情報資源、Web ページ、Web サイトの検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	デジタル情報資源の検索方法を理解する			
	第9回	内容	図書情報の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	図書情報の検索方法を理解する			
	第10回	内容	雑誌・雑誌記事の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	雑誌・雑誌記事の検索方法を理解する			
	第11回	内容	新聞記事の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	新聞記事の検索方法を理解する			
	第12回	内容	言葉・事柄・統計の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	言葉・事柄・統計の検索方法を理解する			
	第13回	内容	歴史・日時の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	歴史・日時の検索方法を理解する			
	第14回	内容	地理・地名・地図の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	地理・地名・地図の検索方法を理解する			
	第15回	内容	人物・企業・団体の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	人物・企業・団体の検索方法を理解する			
	第16回	内容	法律・判例・特許の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく			
				復習	法律・判例・特許の検索方法を理解する			
	第17回	内容	印刷資料の実例①（図書館内での演習）	予習	第7-16回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	印刷資料での検索を理解する			
	第18回	内容	印刷資料の実例②（図書館内での演習）	予習	第7-16回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	印刷資料での検索を理解する			
	第19回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説①（図書館内とPCルームでの演習）	予習	第3-18回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	各種問題の検索方法を理解する			
	第20回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説②（図書館内とPCルームでの演習）	予習	第3-18回の目的別検索方法を理解しておく			
				復習	各種問題の検索方法を理解する			
		内容			予習	第3-18回の目的別検索方法を理解しておく		

	第 21 回		応用：個別練習問題の実施と解説③（図書館内と PC ルームでの演習）	復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 22 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説④（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 23 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説⑤（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 24 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説⑥（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 25 回	内容	発信型情報サービス①インフォメーションファイル（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 26 回	内容	発信型情報サービス②インフォメーションファイル（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 27 回	内容	発信型情報サービス③インフォメーションファイル（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 28 回	内容	発信型情報サービス④パスファインダー（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
復習				パスファインダーの特性を理解する	
第 29 回	内容	発信型情報サービス⑤パスファインダー（作成）	予習	情報サービスについて考える	
			復習	パスファインダーの特性を理解する	
第 30 回	内容	情報サービスの評価 まとめ	予習	情報資源とサービス技術を振り返る	
			復習	サービスの評価と改善点を提案できる	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	演習時に個々の課題を解説する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％）、レポート・課題（90％）、作品・発表（ ）％）、実技（ ）％）、授業態度【積極的参加】（10％）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『現代図書館情報学シリーズ 7：四訂 情報サービス演習』（原田智子、樹村房）				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業時に指示する。				
補足事項	1. 当授業は演習のため、ただ教室にいただけでは授業を受けているとは認めない。 2. 授業は本学図書館所蔵のレファレンスブックと PC を使用して行う。 3. レファレンスの解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。演習では、質問に対する直接的な回答そのものを求めるのではなく、その回答に至るまでの調査過程、使用したレファレンスツールの特徴や内容構成などの理解を重視する。 4. 全体の流れにより多少の変更がある。				

科 目 名	図書館情報資源概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	あきやま 秋山 美和子	
ナバ`リング`コード`	LIS3226			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）						アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無	
授 業 の 内 容	本授業では、図書館情報資源である印刷資料、非印刷資料、デジタル情報資源等の特徴と管理方法について学習する。日本における図書の出版・流通の利点と課題について学習し、書店の減少と図書館への影響についても考察する。また、図書館のコレクションの形成・管理・評価について学習し、新たな情報資源が登場してきたことにより図書館情報資源が今後どのように変化するかを検討する。									
到 達 目 標	1. 印刷資料・非印刷資料・デジタル情報資源等の特徴と管理方法について理解している 2. 図書館情報資源のコレクションの形成・管理・評価について理解している 3. 図書館情報資源の現状、課題、展望について説明できる									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、4 ）文化表現学科（ 2、3、5 ）									
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの内容をよく読んでおく					
				復習	本授業の内容と進め方を理解する					
	第2回	内容	図書館の知的自由・資料選択の自由	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する					
				復習	図書館の知的自由・資料選択の自由を理解する					
	第3回	内容	印刷資料の歴史と特徴	予習	印刷資料にはどのようなものがあるか調べる					
				復習	印刷資料の特徴について理解する					
	第4回	内容	逐次刊行物	予習	雑誌の発行部数の推移について調べる					
				復習	新聞・雑誌の利点・問題点について理解する					
	第5回	内容	非印刷資料・デジタル情報資源	予習	非印刷資料にはどのようなものがあるか調べる					
				復習	デジタル情報資源の特徴について理解する					
	第6回	内容	電子書籍・電子ジャーナル（グループワーク）	予習	図書館における電子書籍の貸出について調べる					
				復習	電子書籍の利点・問題点について理解する					
	第7回	内容	灰色文献、政府刊行物、地域資料等	予習	灰色文献にはどのようなものがあるか調べる					
				復習	収集方法について理解する					
	第8回	内容	図書の出版・流通の問題点と書店（グループワーク）	予習	出版・流通の仕組みについて調べる					
				復習	書店の減少と図書館への影響について理解する					
	第9回	内容	コレクションの形成（蔵書構成・蔵書構築）	予習	蔵書構成とはなにか調べる					
				復習	コレクション構成の意義について理解する					
	第10回	内容	図書館資料の受入	予習	図書館における資料の組織化とは何か調べる					
				復習	資料の受入業務について理解する					
	第11回	内容	図書館におけるコレクション管理	予習	資料の除架・除籍について調べる					
				復習	資料管理の重要性について理解する					
	第12回	内容	コレクション形成の方法と選書（グループワーク）	予習	埼玉県立図書館の選書方針を予読する					
				復習	コレクション形成についてレポートを書く					
	第13回	内容	コレクションの評価	予習	コレクションの評価基準について調べる					
				復習	コレクションの評価の意義について理解する					
	第14回	内容	類縁機関との連携	予習	MLAK 連携について調べる					
				復習	類縁機関との連携の意義について理解する					
	第15回	内容	図書館情報資源の今後の展望（グループワーク）	予習	新たな情報資源について調べる					
				復習	図書館情報資源の今後についてレポートを書く					
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 180 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題・レポートのフィードバックを行う。グループワークは、授業中に口頭でフィードバックする。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（60%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（40%）								
教科書	使用しない									
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ8 図書館情報資源概論』（岸田和明ほか 2020 樹村房）									
補足事項	グループワークがない回は課題を行う。 ルーブリック：https://drive.google.com/file/d/1QNLQVIwhPpvPWx43G1iJ-MrMUtvCh222/view?usp=sharing									

科 目 名	情報資源組織論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	たまき けいこ 玉木 圭子	
ナンバリングコード	LIS3227		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無	
授 業 の 内 容	図書館において収集した資料を利用者に適切に提供するための組織化について、目録、分類法、書誌情報等の、歴史的展開、理論、基礎知識を解説します。目録法、分類法、シソーラスに関しては、グループワークを通して技術的学びを深めます。								
到 達 目 標	1. 情報資源組織化の目的と意義を説明できる 2. 情報資源組織化の歴史的展開と理論を理解している 3. 情報資源組織化の基礎知識・技術を理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、情報資源組織化の目的と意義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく				
				復習	本授業の内容を理解する				
	第2回	内容	書誌コントロールと標準化	予習	書誌コントロールとは何か調べる				
				復習	書誌コントロールの必要性について理解する				
	第3回	内容	目録の歴史・役割・種類	予習	目録とは何か調べる				
				復習	目録の歴史と役割について確認する				
	第4回	内容	オンライン閲覧目録（OPAC）（グループワーク）	予習	実際に OPAC を利用しておく				
				復習	グループワークの結果をレポートにまとめる				
	第5回	内容	日本目録規則の歴史と展開	予習	日本目録規則について調べる				
				復習	日本目録規則の歴史と役割について確認する				
	第6回	内容	主題分析と分類法の概要	予習	「主題分析」「分類」とは何か調べる				
				復習	主題分析や分類の資料に目を通す				
	第7回	内容	日本十進分類法（NDC）（グループワーク）	予習	日本十進分類法について調べる				
				復習	日本十進分類法を使用しレポートを書く				
	第8回	内容	書誌情報の作成（MARC）	予習	MARC とは何か調べる				
				復習	MARC に関する資料に目を通す				
	第9回	内容	書誌情報の流通（書誌ユーティリティ）	予習	NACSIS-CAT と CiNii について調べる				
				復習	日本の書誌ユーティリティについて理解する				
	第10回	内容	語による主題組織法の概要	予習	基本件名標目表（BSH）の内容を見ておく				
				復習	代表的なシソーラスと件名標目表を把握する				
	第11回	内容	シソーラスと件名標目（グループワーク）	予習	シソーラスと件名表目表を使ってみる				
				復習	シソーラスと件名表目表についてグループワークの結果をレポートにまとめる				
	第12回	内容	ネットワーク情報資源の組織化	予習	ネットワーク情報資源の種類について調べる				
				復習	ネットワーク情報資源の組織化について必要性と問題点を理解する				
	第13回	内容	メタデータとダブリン・コア	予習	ダブリン・コアとは何か調べる				
				復習	メタデータに関する資料を再読する				
	第14回	内容	多様な情報資源の組織化	予習	地域資料とは何か調べる				
				復習	多様な情報資源の組織化について確認する				
	第15回	内容	情報資源組織化の展望	予習	これまでの講義資料を再読しておく				
				復習	情報資源組織化の展望について理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	小テスト・課題の解答を示し、必要に応じて解説を行います。また、グループワーク時に適宜コメントをします。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（80％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（20％）							
教科書	指定しません。授業資料を配付します。								
参考文献	『現代図書館情報学シリーズⅡ 情報資源組織論 三訂版』（田窪直規編著、樹村房、2020） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ Ⅱ 情報資源組織論 三訂版』（柴田正美・高畑悦子著、日本図書館協会、2020）								
補足事項	・グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行うことがあります。小テストの内容を復習してください。 ・地域保育学科の実習期間（第9回、第10回）の授業はオンデマンド方式で行う予定です。								

・進捗等に応じてシラバスの内容を一部変更する場合があります。

https://drive.google.com/file/d/IVMlnwTs9500tgKvJKr6DgIYViAjtamaQ/view?usp=drive_link

科 目 名	情報資源組織演習		単 位 数	2	授業時間数	60	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3232		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	「情報資源組織論」で学んだ理論や知識を基にして、多様な情報資源に関する書誌データの作成を行う。 書誌記述、主題分析、統制語彙の適用等の演習を通して、目録作成の実践的な能力を習得する。							
到 達 目 標	1. 演習を通して書誌情報の内容と意義を説明できる。 2. 『日本目録規則 2018 年版』に基づいて書誌データを作成することができる。 3. 『日本十進分類法 新訂 10 版』を使用して分類記号を付与することができる。 4. 『基本件名標目表 第 4 版』を使用して件名標目表を付与することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文 2, 3、4 相当 ）文化表現学科（ 文 2, 3、4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス 図書館業務と情報資源組織	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	第 1 回の講義内容をまとめる			
	第 2 回	内容	目録法（演習）	予習	「目録法」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 3 回	内容	NCR2018 の構成（演習）	予習	「NCR2018」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 4 回	内容	目録作業の実際：図書 データ例（演習）	予習	「目録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 5 回	内容	目録作業の実際：図書 属性総則（演習）	予習	「属性総則」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 6 回	内容	目録作業の実際：図書 表現形の属性の記録（演習）	予習	「表現形の属性」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 7 回	内容	目録作業の実際：図書 実体の属性の記録（演習）	予習	「実体の属性の記録」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 8 回	内容	目録作業の実際：図書 アクセス・ポイント（演習）	予習	「アクセス・ポイント」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 9 回	内容	目録作業の実際：図書 関連の記録（演習）	予習	「関連」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 10 回	内容	目録作業の実際：図書以外（演習）	予習	「図書以外」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 11 回	内容	図書館管理システムの実際 ①	予習	「NACSIS-CAT MARC」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 12 回	内容	図書館管理システムの実際 ②	予習	「NACSIS-CAT データ内容」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 13 回	内容	図書館管理システムの実際 ③	予習	「NACSIS-CAT 登録」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 14 回	内容	主題組織法：主題分析（演習）	予習	「主題組織法」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 15 回	内容	分類作業の実際：NDC（演習）	予習	「NDC10 版」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第 16 回	内容	分類作業の実際：NDC 分類規程（演習）	予習	「NDC 分類規程」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			

	第 17 回	内容	分類作業の実際：NDC 補助表（演習）	予習	NDC 補助表」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 18 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（0 類総記、1 類哲学）（演習）	予習	「0 類総記、1 類哲学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 19 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（2 類歴史、3 類社会科学）（演習）	予習	「2 類歴史、3 類社会科学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 20 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（4 類自然科学、5 類技術・工学）（演習）	予習	「4 類自然科学、5 類技術・工学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 21 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（6 類産業、7 類芸術）（演習）	予習	「6 類産業、7 類芸術」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 22 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（8 類言語、9 類文学）（演習）	予習	「8 類言語、9 類文学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 23 回	内容	分類作業の実際：まとめ（演習）①	予習	第 15～22 回までの「分類」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 24 回	内容	分類作業の実際：まとめ（演習）②	予習	第 15～23 回までの「分類」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 25 回	内容	件名作業の実際：BSH 見方（演習）	予習	「BSH」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 26 回	内容	件名作業の実際：BSH 手順（演習）	予習	第 25 回の「BSH」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 27 回	内容	件名作業の実際：BSH 作業（演習）	予習	第 25～26 回に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 28 回	内容	件名作業のまとめ	予習	第 25～27 回に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 29 回	内容	索引（演習）	予習	「索引」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 30 回	内容	抄録作業、まとめ（演習）	予習	「抄録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	演習課題実施後に解説を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（90％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【積極参加】（10％）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『現代図書館情報学シリーズ 10：三訂 情報資源組織演習』 小西和信・田窪直規、樹村房、				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 書名』（著者名、出版社名） 『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会目録委員会，日本図書館協会：2019 『日本十進分類法 新訂 10 版(2 巻セット)』 日本図書館協会分類委員会，日本図書館協会：2015 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会件名標目委員会，日本図書館協会：1999				
補足事項	1. 当授業は演習のため、ただ教室にいただけでは授業を受けているとは認めない。 2. 授業は教科書を基に行う。 3. 情報資源組織の解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。 4. 全体の流れにより多少の変更がある。				

科 目 名	図書館基礎特論			単 位 数	I	授業時間数	I 6	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3233			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）						アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	情報社会における図書館、司書の役割や機能について、特に図書館のディスプレイに注目して理解を深める。								
到 達 目 標	1．情報社会における図書館の役割と機能について、さまざまな視点から理解し説明できる。 2．図書館の情報発信に関わる課題について説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文2、3、4相当 ）文化表現学科（ 文2、3、4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス ディスプレイの実際 ① 本校図書館の見学	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	ディスプレイを理解する				
	第2回	内容	ディスプレイの実際 ② 校外学習	予習	ディスプレイの違いを整理しておく				
				復習	館種によるディスプレイの特性を考える				
	第3回	内容	ディスプレイの実際 ③ 企画書の作成	予習	ディスプレイの設置目的を考える				
				復習	図書館の特性を理解する				
	第4回	内容	豆本の制作 ①	予習	豆本のテーマを考えておく				
				復習	テーマに合った工夫を考えておく				
	第5回	内容	豆本の制作 ②	予習	豆本のテーマを考えておく				
				復習	テーマに合った工夫を考えておく				
	第6回	内容	豆本の制作 ③	予習	豆本のテーマを考えておく				
				復習	テーマに合った工夫を考えておく				
	第7回	内容	豆本の制作 ④	予習	豆本のテーマを考えておく				
				復習	図書館のサービスを再考する				
	第8回	内容	図書館の役割、まとめ	予習	図書館の在り方について理解しておく				
				復習	図書館の在り方を理解する				
	第9回	内容		予習					
				復習					
	第10回	内容		予習					
				復習					
	第11回	内容		予習					
				復習					
	第12回	内容		予習					
				復習					
	第13回	内容		予習					
				復習					
	第14回	内容		予習					
				復習					
	第15回	内容		予習					
				復習					
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。									
課題へのフィードバック	見学・考察を「企画書」として形に表現する。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（50％）、作品・発表（50％）、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％								
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 関連資料を授業毎に用意する。								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 適宜提示する。								
補足事項	各種図書館の様子を、利用者の視点・図書館側の視点の両面で考えてほしい。 全体の流れにより多少の変更がある。								

科 目 名	図書館サービス特論		単 位 数	Ⅰ	授業時間数	Ⅰ 6	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3228		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無
授 業 の 内 容	図書館の諸問題について取り上げ、幅広く図書館サービスについて知識を深める。 図書館等の視察を行い、各種図書館サービスの特性を学習する。							
到 達 目 標	1. 各種図書館における情報サービスについて説明できる。 2. 各種図書館の評価ができる。 3. 効果的な読書案内の提案を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 文 2、3、4 相当 ）文化表現学科（ 文 2、3、4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダイス 図書館のサービス提供 ①外国の図書館	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	図書館のサービス提供 ②図書館の評価、視察事前学習	予習	対象館を調べる			
				復習	対象館の特性をまとめる			
	第 3 回	内容	校外学習 図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える			
				復習	図書館の特性を理解する			
	第 4 回	内容	校外学習 図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える			
				復習	図書館の特性を理解する			
	第 5 回	内容	校外学習のまとめ	予習	対象館を調べる			
				復習	対象館の特性をまとめる			
	第 6 回	内容	図書館サービスの現状 ①ポップ作成	予習	提案型サービスの在り方を考える			
				復習	効果的提案の在り方を考える			
	第 7 回	内容	図書館サービスの現状 ②ポップ作成	予習	ポップ作成手順を理解しておく			
				復習	ポップをまとめる			
	第 8 回	内容	図書館サービスの現状 ③ポップ作成	予習	ポップ作成手順を理解しておく			
				復習	ポップをまとめる			
	第 9 回	内容		予習				
				復習				
	第 10 回	内容		予習				
				復習				
	第 11 回	内容		予習				
				復習				
	第 12 回	内容		予習				
				復習				
	第 13 回	内容		予習				
				復習				
	第 14 回	内容		予習				
				復習				
	第 15 回	内容		予習				
				復習				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	図書館評価の視点を、視察を通して理解を深め、各館の課題を考えさせ、発表させる。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％）、レポート・課題（90％）、作品・発表（ ）％）、実技（ ）％）、授業態度【積極参加】（10 ）％）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 関連資料を授業時毎に用意する。							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 適宜提示する。							
補足事項	1. 図書館等の視察を行い、報告書を作成する。資格取得を目的とした講座の為、自主的に多くの図書館を視察して、図書館サービスの事例を調査することを望む。図書館視察は受け入れ館と日程調整を要するため、現在日程は未定。調整が取れない場合、また状況によっては授業内容の							

	変更を行う。
--	--------

	2. ポップ作品は、文化祭で授業成果として発表展示を行う。
--	-------------------------------

科 目 名	図書館情報資源特論		単 位 数	1	授業時間数	16	担当教員	あきやま 秋山 みわこ 美和子	
ナンバリングコード	LIS3234		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無	
授 業 の 内 容	本講義では、書評を鑑賞し、図書の内容を論理的に批評・評価する方法について学ぶ。図書を2冊選び、実際に書評を作成して口頭で発表する。 本授業は所沢市立図書館と連携して行う地域貢献活動の一環であり、作成した書評の冊子は所沢市立図書館所沢分館に展示される予定。								
到 達 目 標	1. 図書館資料の提供方法について、基礎的な知識と技法の身につけている 2. 図書館資料を深く読み、批評・評価を加えて提供することができる 3. 図書館資料から得られた自身の考えを、複数の方法で表現することができる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラパスの内容をよく読んでおく				
				復習	書評とは何かを調べる				
	第2回	内容	書評の鑑賞と書き方	予習	書評サイトを確認する				
				復習	書評を作成する図書を選ぶ				
	第3回	内容	書評の作成①-1 1冊目の要旨	予習	書評を作成する本を読んでおく				
				復習	要旨をまとめる				
	第4回	内容	書評の作成①-2 論理的な批評・評価	予習	論点を明らかにしておく				
				復習	書評を完成させ、提出する				
	第5回	内容	書評の作成②-1 2冊目の要旨	予習	書評を作成する本を読んでおく				
				復習	要旨をまとめる				
	第6回	内容	書評の作成②-2 論理的な批評・評価	予習	論点を明らかにしておく				
				復習	書評を完成させ、提出する				
	第7回	内容	書評の冊子作成	予習	1ページ分の仮版を作成する				
				復習	1ページ分の組版を完成させる				
	第8回	内容	書評の発表会	予習	発表の練習をする				
				復習	自身の発表の振り返りをする				
	第9回	内容		予習					
				復習					
	第10回	内容		予習					
				復習					
	第11回	内容		予習					
				復習					
	第12回	内容		予習					
				復習					
	第13回	内容		予習					
				復習					
	第14回	内容		予習					
				復習					
	第15回	内容		予習					
				復習					
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	作成した書評と発表に対して、コメントを付けて返却する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（50％）、作品・発表（50％）、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％							
教科書	使用しない								
参考文献	『本をすすめる 書評を書くための技術』（近藤康太郎 2026 本の雑誌社）								
補足事項	本授業は8回（1単位）の司書資格における選択科目 ルーブリック： https://drive.google.com/file/d/1QNLQVIwhPpvPWx43G1iJ-MrMUtvCh222/view?usp=sharing								

科 目 名	図書・図書館史		単 位 数	1	授業時間数	16	担当教員	あきやま 秋山 みわこ 美和子
ナンバリングコード	LIS3235		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）					アクティブ・ラーニングの実施		有・無
授 業 の 内 容	本講義では、図書については情報記録メディアの変遷について学習する。図書館史については、諸外国の図書館の歴史を概観した後、日本の図書館の近世から現代までの歴史を学習する。特に戦時体制下における図書館の課題についてグループワークで検討した後、1945 年以降の図書館の成立・変遷について民主主義の観点から解説する。							
到 達 目 標	1. 図書を含む情報記録メディアの歴史について理解し、説明できる 2. 世界の図書館の歴史について理解し、説明できる 3. 日本の図書館の歴史について理解し、説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、5 ）文化表現学科（ 2、3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの内容を読んでおく			
				復習	授業の内容と進め方について理解する			
	第2回	内容	情報記録メディアの歴史① 紙と印刷技術	予習	印刷技術の発達と図書の形態について調べる			
				復習	紙の情報記録メディアについて理解する			
	第3回	内容	情報記録メディアの歴史② 電子的な情報記録メディア	予習	電子的な情報記録メディアについて調べる			
				復習	情報記録メディアについて理解する			
	第4回	内容	世界の図書館① 古代～中世	予習	ルネサンス期の図書館について調べる			
				復習	社会の動きと図書館の発展について理解する			
	第5回	内容	世界の図書館② 近世～近代	予習	会員制図書館について調べる			
				復習	近代図書館の役割を理解する			
	第6回	内容	日本の図書館① 近世～近代	予習	図書館令について調べる			
				復習	明治・大正期の図書館について理解する			
	第7回	内容	日本の図書館② 戦時体制下（グループワーク）	予習	戦時体制下の図書館について調べる			
				復習	戦時体制下の図書館の状況について理解する			
	第8回	内容	日本の図書館③ 戦後改革期～現代	予習	「中小レポート」について調べる			
				復習	民主主義と図書館の関係について理解する			
	第9回	内容		予習				
				復習				
	第10回	内容		予習				
				復習				
	第11回	内容		予習				
				復習				
	第12回	内容		予習				
				復習				
	第13回	内容		予習				
				復習				
	第14回	内容		予習				
				復習				
	第15回	内容		予習				
				復習				
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 180 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。グループワークは、授業中に口頭でフィードバックする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（80%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（20%）							
教科書	『現代図書館情報学シリーズⅠ 改訂 図書館概論』（高山正也、岸田和明編著 2017 樹村房）※図書館概論にて購入済							
参考文献	『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ Ⅱ 図書・図書館史』（小黒浩司編著、日本図書館協会）							
補足事項	本授業は 8 回（1 単位）の司書資格の選択科目。各項目の最後に小テストを行い（3 回）、レポート・課題に含める。 ルーブリック： https://drive.google.com/file/d/IQNLQVIwhPpvPWx43GIJ-MrMUtvCh222/view?usp=sharing							